

第1期

『術前の緻密な検査診断』が とんでもない難症例の補綴を成功に導く ただ一つの道である



藤尾 明 先生

1995年 兵庫歯科学院専門学校卒業
1997年 カミムラ歯科勤務
2004年 本多歯科医院勤務
2012年 AXIA DENTAL TECHNOLOGY開業

新大阪歯科技工士専門学校 非常勤講師
大阪SJCD 臨床テクニシャンコースインストラクター
大阪 SJCD レギュラコース スポット レクチャー
咬合・補綴治療計画セミナー スポット レクチャー
その他多数のコースのインストラクター



青木 健治 先生

1998年 大阪歯科学院専門学校卒業
2008年 本多歯科医院勤務
2019年 LORE Dental Laboratory 開業

新大阪歯科技工士専門学校 非常勤講師
大阪SJCD 臨床テクニシャンコースインストラクター
大阪セラミックトレーニングセンターインストラクター
咬合・補綴治療計画セミナー スポット レクチャー
その他多数のコースのインストラクター

セミナーの趣旨

近年、デジタル機器を用いた補綴装置作成の進歩はめざましく、アナログ技工による補綴装置作製の機会が減っているように思える。しかし咬合再構成を伴う大きな修復治療においては、まだまだアナログ技工が必要ではないかと考える。

なぜなら適正に治療咬合を与えることが必要な症例において、ただ単に天然歯の形態を模した補綴装置を散見するからである。これは、補綴装置を画面上で作成することにより実際に咬合や軸面形態を作らないことが原因と考えられる。

また、矯正治療やインプラント治療が混在する複雑な難症例においては、歯科医師サイドと歯科技工士サイドの知識と治療プロトコルの共有は不可欠であり、よりいっそう歯科医師サイドとのコミュニケーションをとらなければ、お互いがイメージする治療ゴールの達成は難しい。

そこで今回は治療術式が複雑な難症例をアナログ技工の視点から解説し、実習を通じて疑似体験していただこうと思う。さらにアナログ技工だけでなく、複雑な難症例にデジタル技工をどのように応用しているか、また歯科医師サイドと日常的に、こういったコミュニケーションをとっているかについても解説したいと思う。

セミナー内容

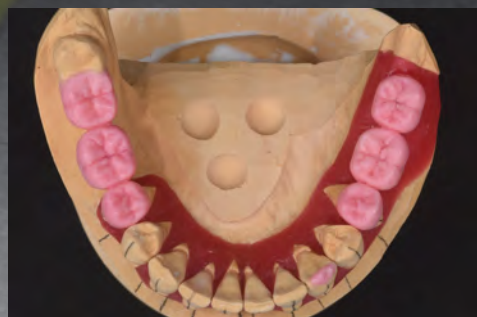
Day 1

- ・歯科技工士の立場から見た治療総論と模型診断の概念
- ・临床上技工士が知っておくべき基本的矯正治療
- ・セットアップ&ワクシング実習

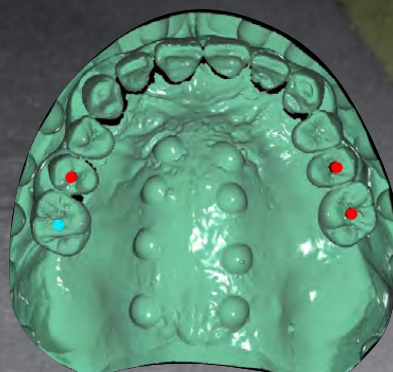
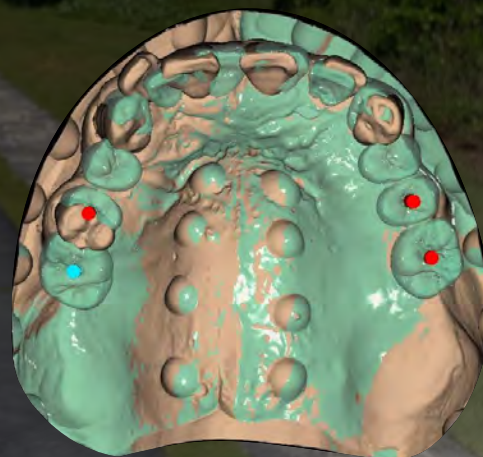
Days 2

- ・セットアップ&ワクシング実習
- ・セットアップ前後の模型のデジタルマッチング法
- ・デジタルでの矯正用プロビジョナルの作成法
- ・コースまとめ

※レクチャーと実習は追加する可能性あり



※セットアップ模型実習



※模型マッチング講習

開催日時 2025/6/21(土)・22(日)

(Sat) 10:00~18:00 (Sun) 10:00~16:00

※土曜夜に懇親会を予定しております(実費)

定員数

12名 レクチャー&ハンズオン(技工士)

12名 聴講のみ(歯科医師)

※定員になり次第締め切らせて頂きます

受講費

1・技工士 90,000円/1名(実習あり)

2・技工士・歯科医師のペア 130,000円/2名(技工士のみ実習あり)

※上記金額に、セットアップ模型代/各種材料費(技工士のみ)・昼食代・消費税が含まれています

技工士の参加条件

(いずれか)

1・臨床経験5年以上

2・SJCDやその他、咬合に関するコースを受講された方

3・フルマウス技工や検査診断を日常臨床でされている方

※上記3つのいずれかに該当していればOKです

※上記は技工士の参加条件であり、歯科医師はこれに該当していなくても結構です

持参物

使い慣れたインスルメント/ワックス/各種バー

模型と咬合器(KAVO咬合器かパナデント咬合器に限定します)

咬合器に付属する咬合平面板

※カボはプロター3以上、パナデントはマグナムスプリットが必要です

※事前にセットアップ模型をお渡しして平面板を使ってマウントして頂きます

会場

Amorphous事務局

大阪府大阪市中央区本町2-3-4 アソルティ本町7階 LAZARUS内

※お問い合わせは下記LINEにてお願いいたします

申込方法

セミナー専用公式LINEにご登録ください

LINEにて参加申し込みフォーム・お支払い方法を送信します

公式LINE登録は右のQRコード読み取り(ID:@140nnfsq)



今回は様々な咬合や審美の研修会でインストラクターを務められている、藤尾明氏と青木健治氏の最強タッグによる模型診断セミナーとなります。

両氏は咬合治療の権威である本多正明先生のクリニックで長年修行され、その圧倒的な知識と技術に裏打ちされた補綴物は、名うての臨床家達を大いに唸らせてきました。

そんな両氏がかねてから構想を温めていたものの、諸事情あり開催まで至らなかった本コースを、この度初めて皆様にお届けできる事となりました。

大きなケースになればなるほど事前準備や専門知識が必要となり、歯科技工士と歯科医師が共通のコンセプトでもって同じゴールを目指す事が重要となります。その為には、歯科技工士にも検査診断力や矯正の知識が不可欠となります。

レクチャーでは、その辺りの「歯科技工士が必ず知っておくべき知識」をお伝えします。

またハンズオンでは、実際に矯正のセットアップ模型を使って受講生の方に歯を動かして頂きます。そして「デジタルマッチング法」を使い、術前術後の違いを明確にし、矯正前から最終ゴールを見据えたインプラント埋入位置を設定する方法をお伝えします。

「ワンランク上の模型診断力」を身につけることができれば、決してフルマウスの難症例は怖いものではなくなるでしょう！

なぜ彼らは『かくも難しい』ケースを『かくも容易く』
そして『かくも美しく』仕上げることができるのだろうか？

才能？ 情熱？ 人情？？ 人柄？？・・・・否っっ！！！！

その答えは来ればわかる

2024年10月某日 沖縄にてエメラルドグリーンの海を眺めながら

LAZARUS/Amorphous 代表 村田彰弘Ⓐ